

2023年7月期 通期決算説明資料

株式会社メディアシーク

(東証グロース：4824)

2023年9月11日

Media
Seek

目次

会社概要	P. 3
決算概要	P.12
業績予想	P.17
成長戦略	P.24
配当政策・株主還元	P.33
サステナビリティ	P.35

会社概要



会社概要

会社名	株式会社メディアシーク MEDIASEEK, inc.
設立	2000年3月1日
資本金	823,267千円
代表	代表取締役社長 西尾直紀
所在地	〒108-0072 東京都港区白金1丁目27番6号 白金高輪ステーションビル
従業員数	71名

(2023年7月31日現在)



善いものを生みだし続ける

我々は善いものを生みだし続けることを目標に自社の企業価値を拡大してまいります。

クライアントにIT技術を提供し共に生みだす。

ベンチャー企業に投資と企業成長のノウハウを提供し共に生みだす。

社内のアイデアにレガシーを組み合わせ新たに生みだす。

実現形態は異なりますが、善いものを継続的に生みだすことが我々の使命です。

市場ニーズに合わせた5つの事業ポートフォリオを構築

コーポレートDX

法人向けシステムコンサルティング
サービスの提供



画像解析・AI

バーコード/QRコード読み取りアプリ
の提供とAI技術の研究開発



ライフスタイルDX

教育、ヘルスケア、エンターテインメン
ト等のオンラインサービスの提供



ブレインテック・DTx

治療用アプリの研究・開発と
ブレインテックの民生応用



ベンチャー インキュベーション

IPO実現までしっかり並走する
厚い支援を実施



現行ビジネスの規模拡大を行いつつ、
世の中を善くするため新技術の
研究・開発を継続します。

ベンチャー企業との協業も進め、
常に新しい技術領域に挑戦します。

法人向けシステムコンサルティングサービスの提供

EdTechシステム構築

法人向け業務ソリューション

法人向けDXサポート

当社サービスの強み

高い技術力



幅広い分野への対応力



モバイル端末の知見



最適なサービスとの連携



売上向上の支援



バーコード/QRコード読み取りアプリの研究開発の実施と提供 長年培った読取技術を多岐に応用します



アプリ「アイコニット」

- ・累計3,500万ダウンロード突破
- ・使ってトクするバーコードリーダー
- ・主要アドネットワークと提携、安定した広告収益
- ・安心・安全、非接触、ユニバーサルで、より多くの方が便利に使える機能を搭載



バーコードリーダーライブラリ

- ・日々の読み取り情報を機械的に分析し、継続的な読み取り性能向上
- ・メディカル領域でのニーズ拡大
- ・読み取り可能な対応バーコード拡大



AI

- ・SNSのテキストデータからトレンドを予測、さらに感情分析・異常検知
- ・読み取れないバーコード画像をAI解析
- ・ニューロフィードバックへの活用
- ・自社サービス向け研究開発の実績を蓄積、AIエンジンの外部提供へ

ライフスタイルDX

ライフスタイルに変革を与え、生活を便利に、そして豊かにするサービスを提供

EdTech



FanTech



HealthTech



FinTech



EdTech、FanTech、HealthTech、FinTech の4つのテクノロジーを中心に、DX化の促進を図ります

DTxにおける治療用アプリの研究・開発

- 2022年「医療機器製造業」として登録をしました。
- 中枢神経系の病気をターゲットに、医療機器プログラム（治療用アプリ）としての承認、保険償還を目指します。
- 日本でもDTxの動きは活発になり、大手製薬企業も取組を開始。パートナーシップを結び、病院やクリニックでの提供を目指します。
- ブレインテックでの経験・技術や豊富なアプリ開発実績を活かし、治療用アプリの開発・運用サービスを提供していきます。

医療類似行為への導入と民生応用

- 2023年3月アトラグループ株式会社と接骨院向けヘルステック事業のサービス開発において連携を開始しました。
- 既存の治療法に加え、脳のデータを活用することで、よりパーソナライズされた施術に繋げることを目指します。

ベンチャーインキュベーション

IPO実現までしっかり並走する厚い支援を実施

ファシリティ	インフラ	資本
戦略	テクノロジー	人材
法務	経理・財務	採用

インキュベーションプラットフォーム



2023年までに
IPO 6社 バイアウト 1社を実現

IPO実績

- ◆ バンダイネットワークス(株)
※現在は(株)バンダイナムコエンターテインメントに吸収合併
- ◆ (株) トラスト <3347>
- ◆ (株) ダイヤモンドダイニング
(現: (株) DDホールディングス) <3073>
- ◆ JIG-SAW (株) <3914>
- ◆ (株) Link-U <4446>
- ◆ (株) デリバリーコンサルティング <9240>

投資先の厳選と手厚いインキュベーションにより、
高いIPO実現率を誇ります

決算概要



四半期実績（会計期間）

前期比で増益を達成

	2022年7月期					2023年7月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高(百万円)	237	212	251	185	887	202	219	217	231	870
営業利益(百万円)	33	18	15	△27	40	4	21	7	7	41
経常利益(百万円)	47	38	22	△33	74	19	16	15	27	78
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益(百万円)	41	32	19	△37	55	14	11	11	22	60
1株当たり 四半期(当期)純利益(円)	4.27	3.32	1.95	△3.88	5.67	1.48	1.20	1.19	2.33	6.19

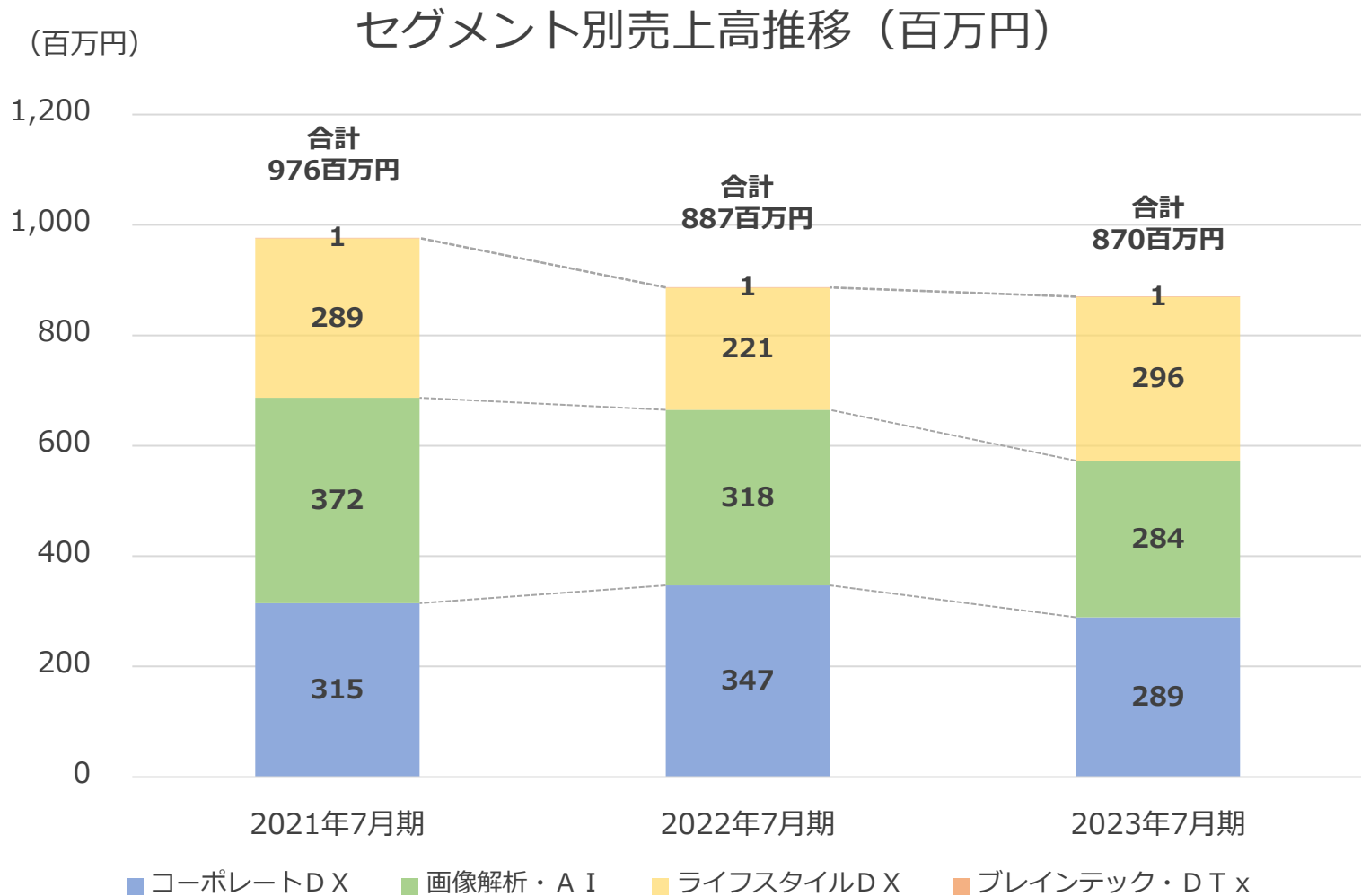
通期業績予想に対する着地

利益については予想を大きく上回る

	2023年7月期 通期業績予想	2023年7月期 通期業績実績	通期業績予想に 対する着地
売上高(百万円)	902	870	96.5%
営業利益(百万円)	30	41	138.5%
経常利益(百万円)	42	78	186.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	32	60	188.6%

- 予想に対して売上高は未達の一方、利益は予想を大きく上回りました。
- 当初予想に対して、外注費及び諸経費等を抑えることに成功したため、営業利益については予想数値を上回る結果となりました。
- 投資有価証券の運用が好調だったため、経常利益も当初予想を上回る結果となりました。

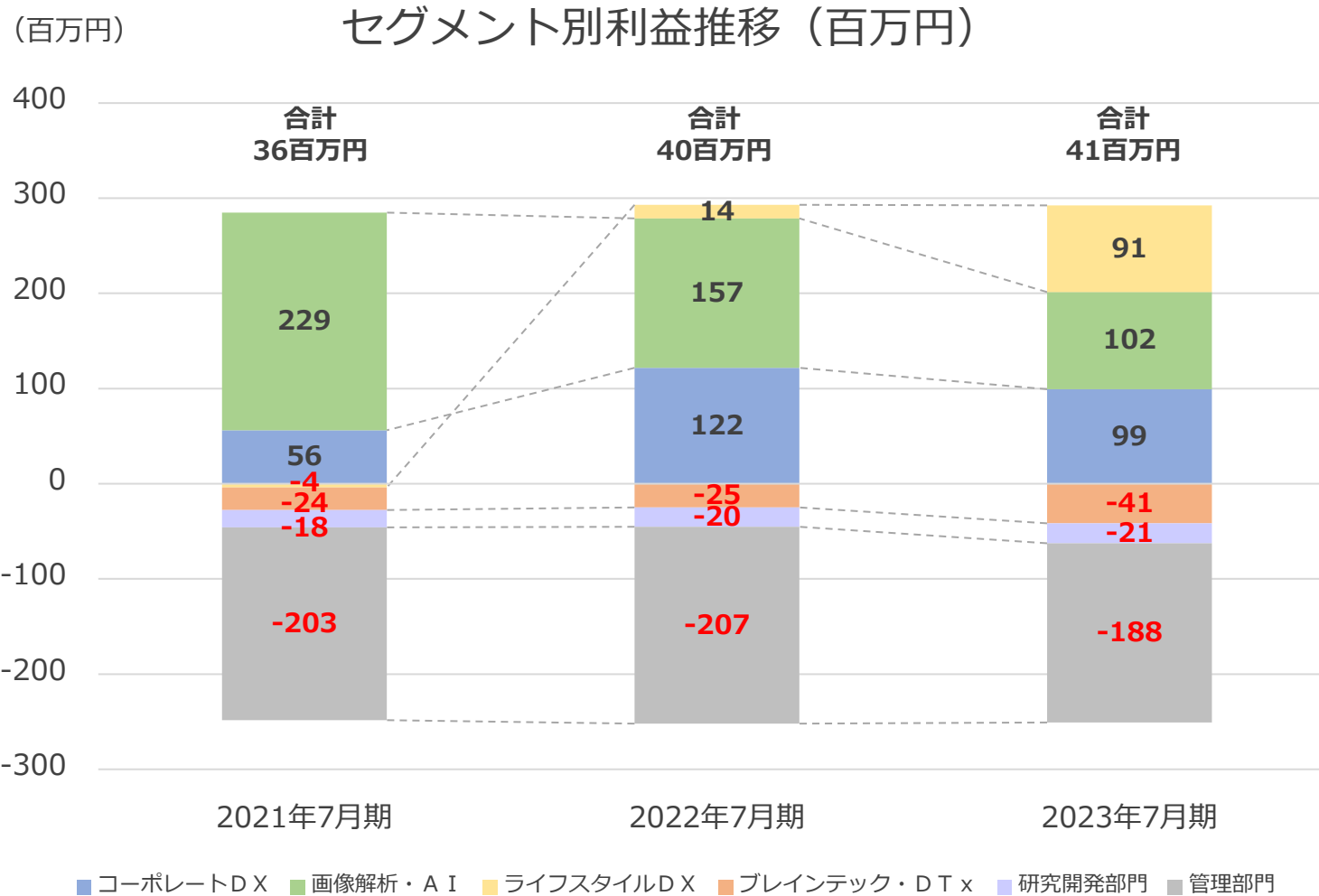
セグメント別業績推移（売上高）



- 予想を下回り、前期より減収となりました。
- マイクラスの新規受注が伸びており、ライフスタイルDXが好調に推移しました。
- コーポレートDXは堅調な数値となっております。
- 画像解析・AIの売上高の減少は、広告単価の低下による広告収入の大幅な縮小が主な要因となっております。
- ブレインテック・DTxは事業立ち上げのフェーズにあるため限定的となっております。

※2021年7月期の値は、期中に連結対象外となった(株)デリバリーコンサルティング社の値を除外した売上となっております。

セグメント別業績推移（利益）



- 業績予想を上回り増益となりました。
- マイクラスの新規受注が伸びており、ライフスタイルDXの利益が大幅に増加しております。
- ブレインテック・DTxを含む新規事業への投資に注力しております。
- 管理部門は、コスト削減に成功しております。

※2021年7月期の値は、期中に連結対象外となった(株)デリバリーコンサルティング社の値を除外した利益となっております。

業績予想

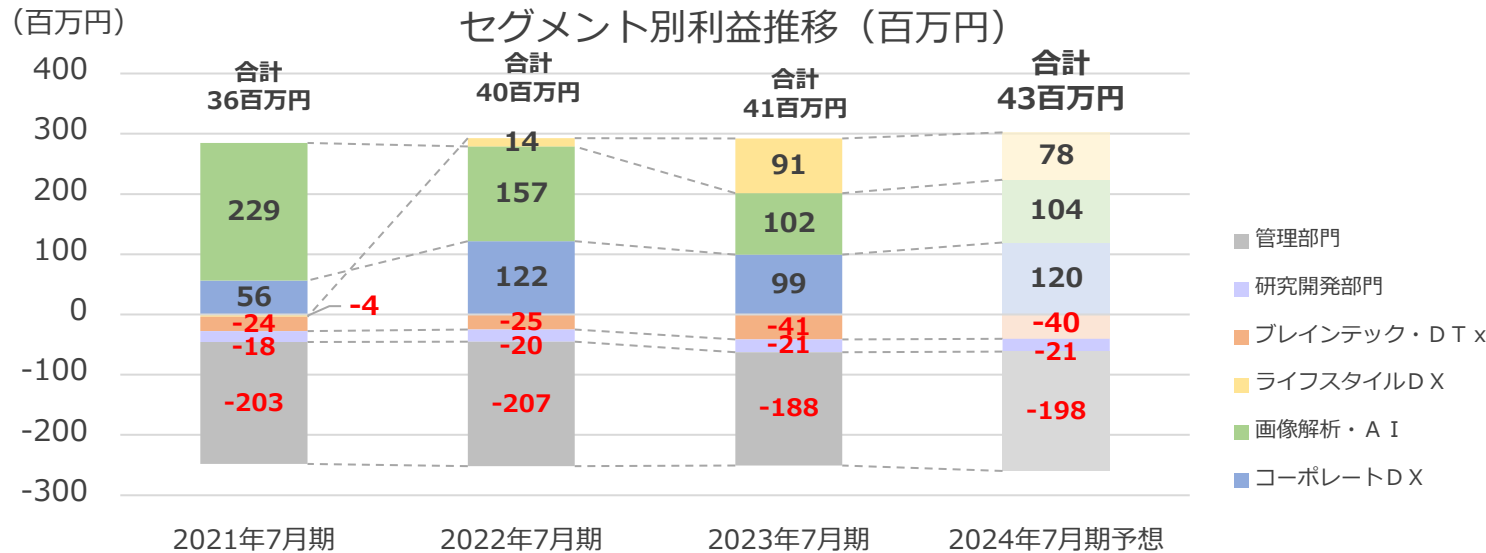
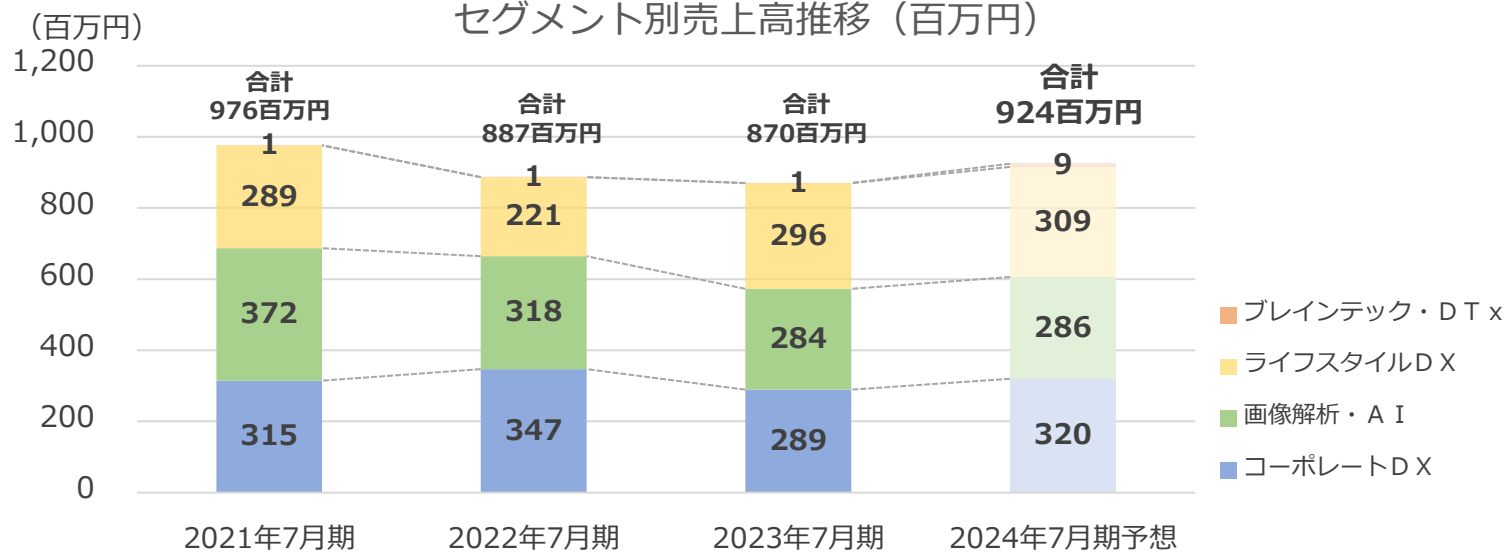


来期業績予想

	2022年7月期 実績	2023年7月期 実績	2024年7月期 業績予想	業績予想前期比	
				増減額	増減率
売上高(百万円)	887	870	924	+54	+6.1%
営業利益(百万円)	40	41	43	+2	+3.5%
経常利益(百万円)	74	78	92	+14	+17.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	55	60	61	+1	+1.1%
1株当たり 当期純利益(円)	5.67	6.19	6.26	+0.07	+1.1%

- 新規事業への投資を積極的に行いつつも、増収増益を目指します。
- コーポレートDX、画像解析・AI、ライフスタイルDXの既存の3セグメントでは安定的な成長を目指しつつ、ブレインテックを含む新規事業で大きな成長を狙います。

セグメント別業績予想

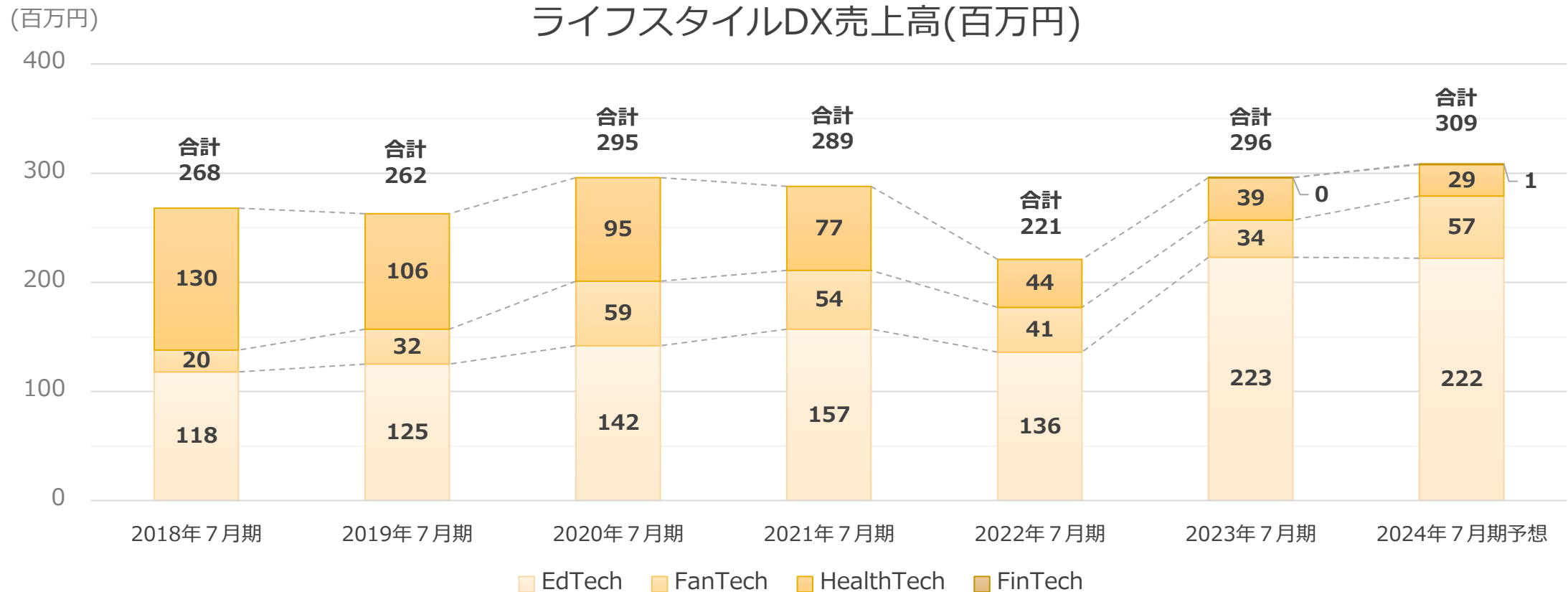


- コーポレートDXにおいては、顧客からの引き合いが好調であるため、売上及び利益の増加が見込まれます。
- 画像解析・AIにおいては、ICONITのを次世代に対応した情報プラットフォームとしてさらに進化させます。
- ライフスタイルDXにおいては、引き続きマイクラスの好調な受注が見込まれます。
- ブレインテック・DTxにおいては、他社との協業により売上計上の基礎を構築し、中長期的に本格的な売上計上を達成するための足掛かりのための1年とする計画です。

※2021年7月期の値は、期中に連結対象外となった(株)デリバリーコンサルティング社の値を除外した売上及び利益となっております。

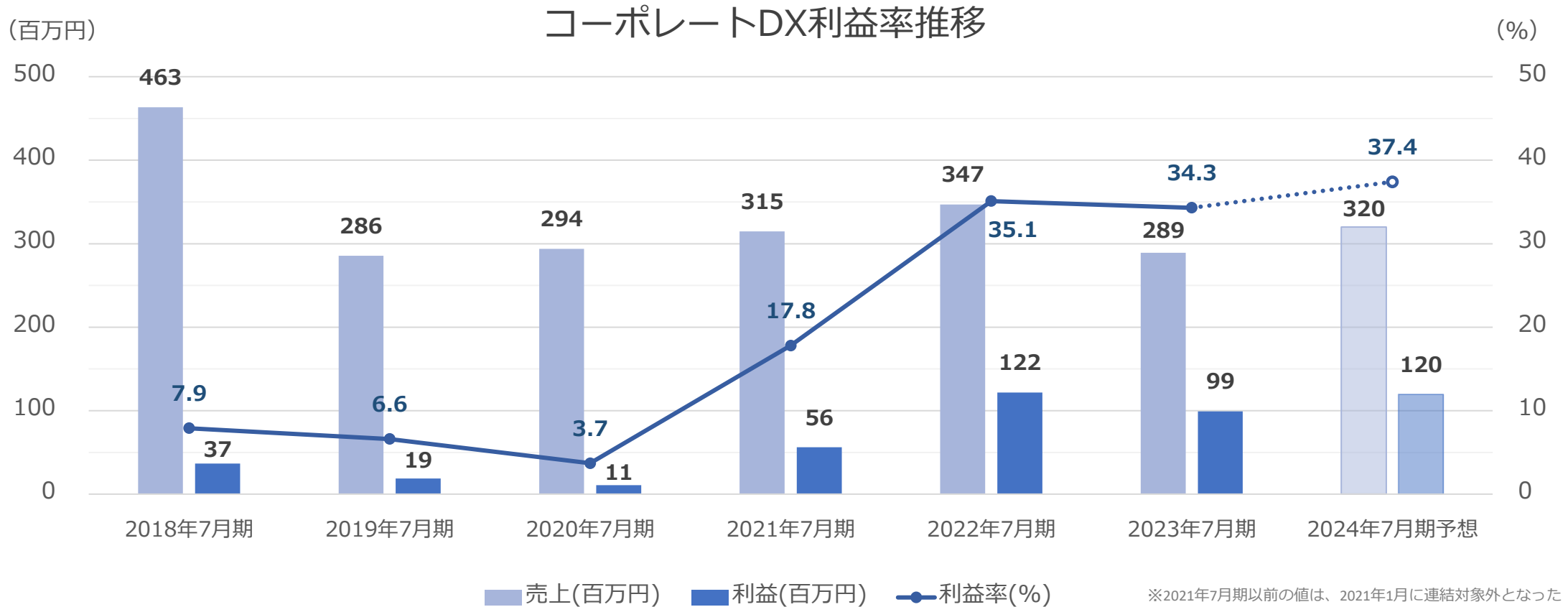
参考：ライフスタイルDX売上内訳

- ◆ セグメントとして直近10年内過去最高売上高 ※セグメント再編前を含む
- ◆ マイクラスの新規受注の伸びにより、EdTechは引き続き堅調に推移
- ◆ 今後『BOYS MEETING From Thailand』がFanTechの売上を押し上げる見込み



KPI：コーポレートDX利益率推移

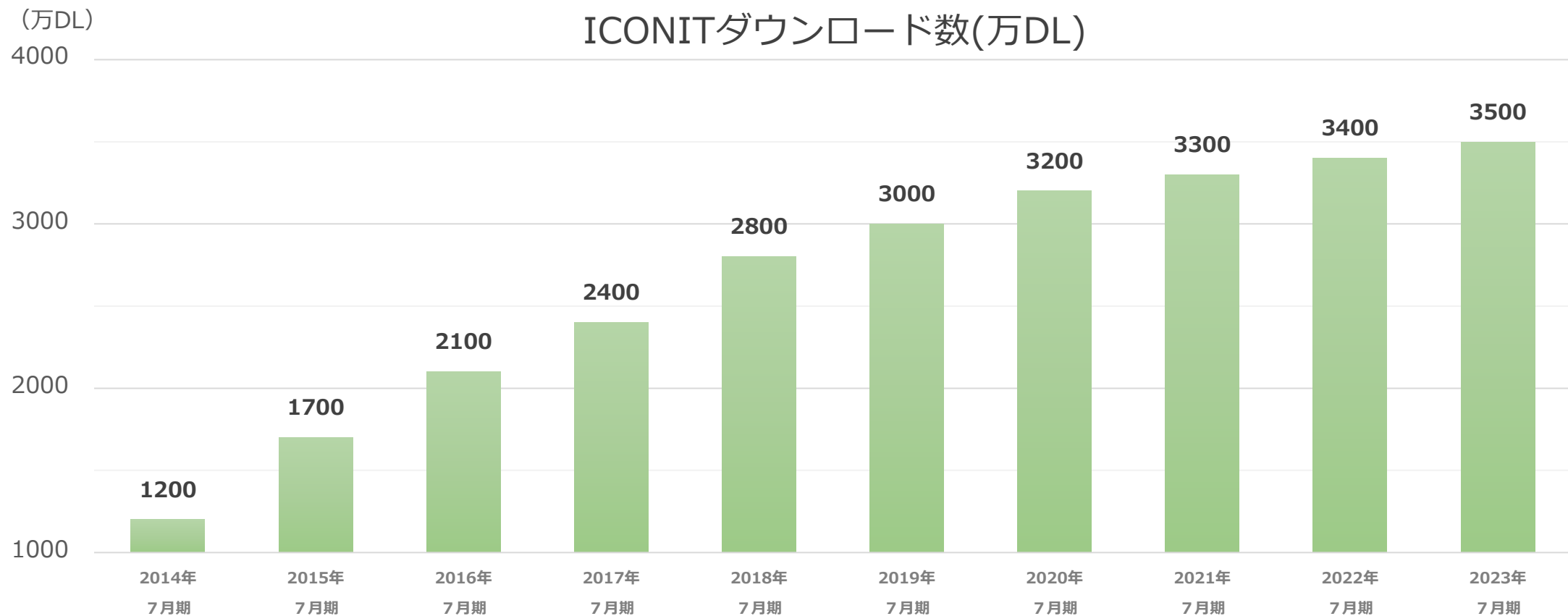
多様な働き方の人材を活用することで、大幅に利益率を向上
 今後も時代に合わせた柔軟な働き方を取り入れていきます



※2021年7月期以前の値は、2021年1月に連結対象外となった
 (株)デリバリーコンサルティング社の値を除外した
 売上及び利益となっております。

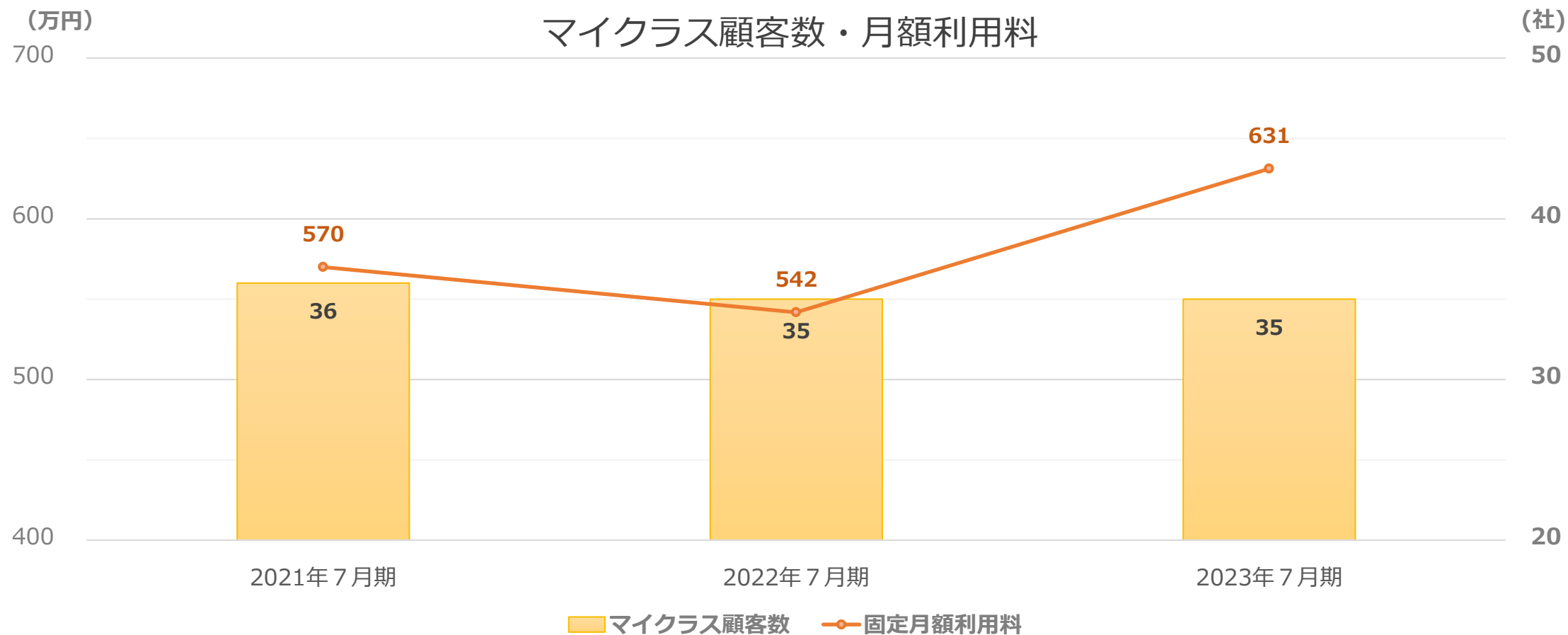
KPI：ICONITダウンロード数推移

リリースから10年以上経った現在もアプリダウンロード数は拡大
ICONITによる広告収入は安定的な収益基盤



KPI: マイクラス顧客数・利用料推移

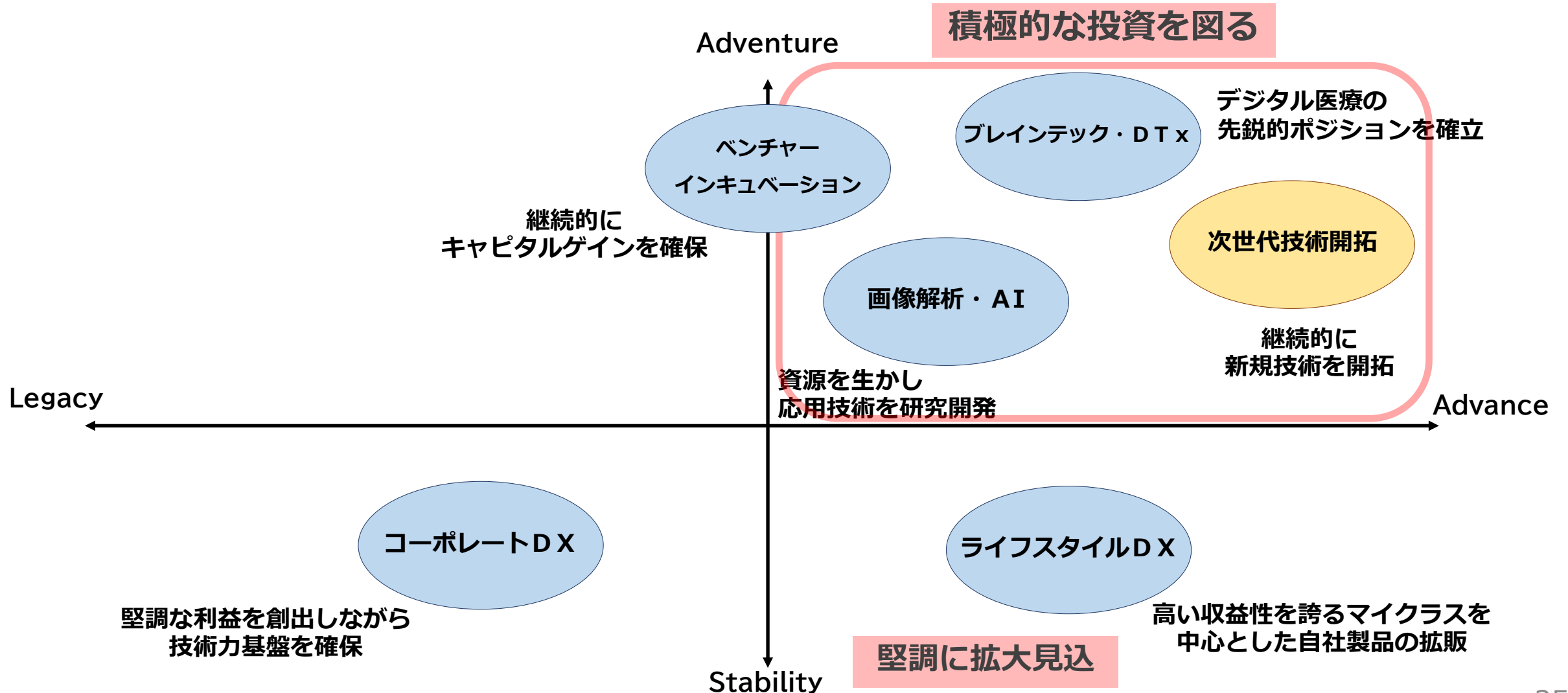
顧客数は横ばいの一方、顧客単価、導入拠点数、利用ユーザーは増加傾向
今後も多くの引き合いが見込まれます



成長戦略



既存事業を育成しながら、新規技術領域への積極的な投資を加速





累計3,500万ダウンロード 定番のスマートフォンアプリ

- 独自の画像解析/読取エンジン
- 多種多様なバーコードの読取に対応
- 11ヶ国語対応
- アプリ内ポイ活(楽天ポイント 他)
- 読み取り以外にも多彩な便利機能
(メモ帳/ルーペ/ICカード読取 他)

速く、正確

業務用にも使われる技術の
QR/バーコード読み取りアプリ





マイクラスは、今まで蓄積された運用ノウハウを元に
スクール管理／運営に必要な機能をすべて網羅



クラス・講座管理



生徒・会員管理



講師管理



スケジュール・予約管理



給与管理

あらゆる業態に対応し、ニーズに合わせたカスタマイズも可能



カルチャースクール



テニススクール



語学スクール
学習塾
大学公開講座

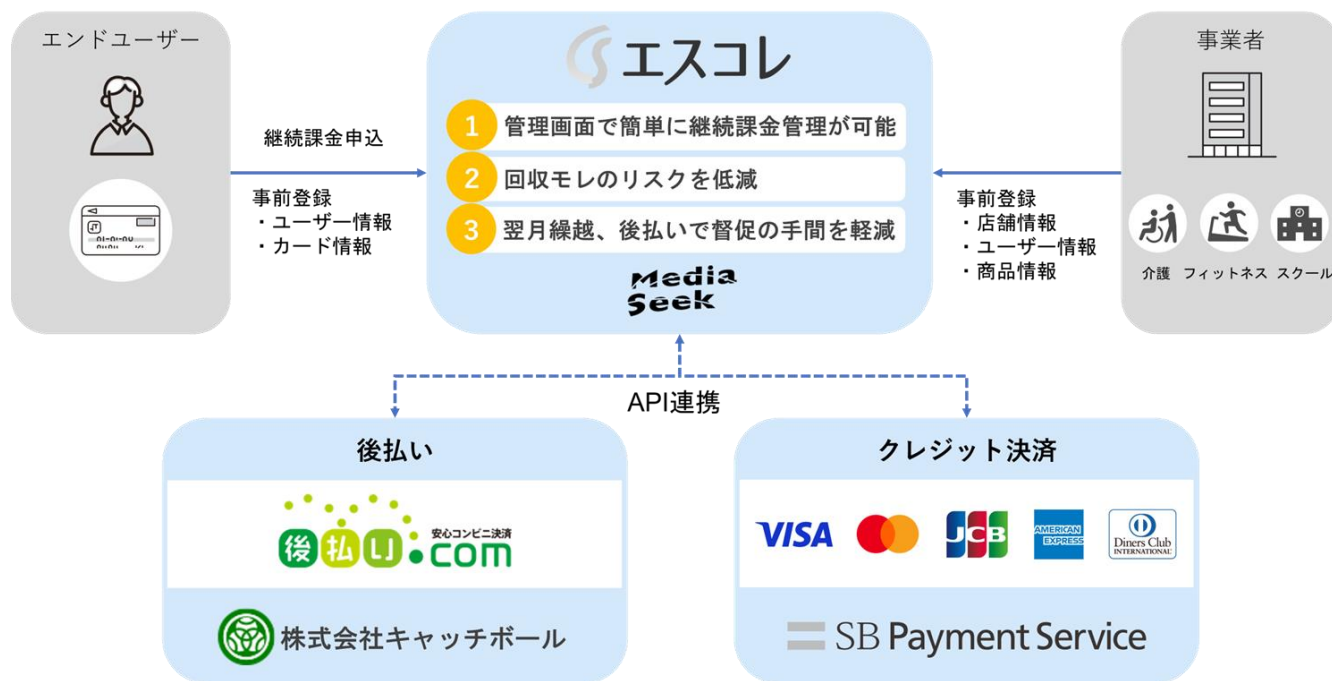


フィットネスジム



エスコレ

2023年5月よりサービス開始
新たにFinTech（フィンテック）に参入



後払い機能付きクレジットカード継続課金システム

- ✓ エスコレ管理サイトで簡単に継続課金管理が可能
- ✓ 翌月繰越、後払いによって督促の手間を低減
- ✓ 後払い契約への移行で未払い分の代金を保証※1

※1 近日実装予定

BOYS MEETING from Thailand

BOYS MEETING from Thailand

シミュレーションゲーム、LINEスタンプ、カメラアプリ
を配信中！



日本でも人気急上昇中のタイBLドラマで活躍する俳優5名を迎え、
『BOYS MEETING From Thailand』を展開中。
さまざまなデジタルコンテンツを通して
タイBLドラマ俳優の魅力を発信するデジタルコンテンツブランドです。



S-applico

サブスクアプリ開発

クリエイターのオリジナルアプリを開発！

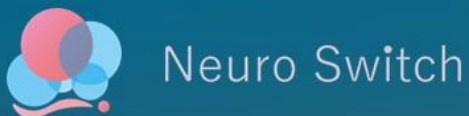
安定したマネタイズを実現する
「サブスク収入」+「広告収入」

シンプル設計であたなの世界が
そのままファンに届く

多言語展開可能であたなコンテンツが
世界に届く

YouTubeなどのプラットフォームとの
併用もおすすめ





サービス利用イメージ



当社は、アトラグループ株式会社と脳波を活用したブレインテックトレーニングサービスの提供を開始します。

当社はこれまで、ブレインテック事業に取り組む中で脳波と身体の痛みとの関係に着目し、痛みの緩和を目的とした研究・サービス開発を行ってきました。

そのブレインテック・DTxに関する知見を活用し、アトラグループが支援する接骨院・鍼灸院・マッサージ院向けに痛みの緩和を目的とした、ブレインテックトレーニングサービスを提供します。

DTx カオスマップ 2022

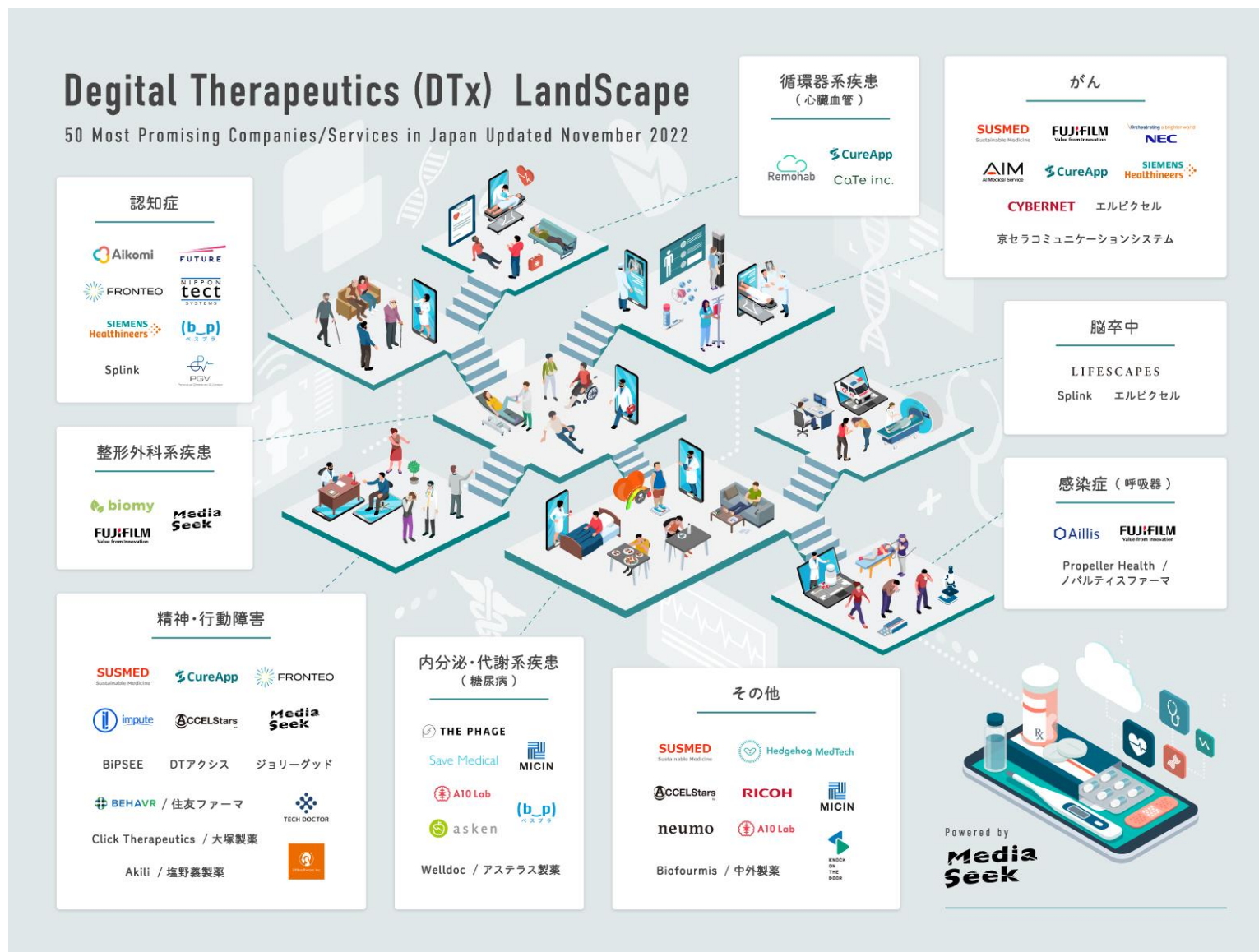
DTx関連事業推進の一環として、国内DTx関連市場における「DTxカオスマップ2022」を作成しました。

DTx市場は2025年までに7兆円を超える規模に達する※1と見込まれており、社会の変化も相まって今最も注目される市場の1つとなっています。

DTx関連市場を対象疾病ごとに9カテゴリーに分け、およそ50の企業を掲載しています。

※1 インサイダーインテリジェンス。

「Digital Therapeutics: DTx market trends and companies in the growing digital health industry」
<https://www.insiderintelligence.com/insights/digital-therapeutics-report/> (参照2023-5-25)



配当政策・株主還元

配当政策・株主還元

- 2021年7月期より配当を再開
- 成長のための内部留保の確保と株主への利益還元を両立させることを重要課題と認識しております
- 内部留保資金の用途については、ブレインテック・DT x 等新規事業への投資を進める予定です
- 今後も継続的かつ安定的な配当を行う方針です

	2020年7月期	2021年7月期	2022年7月期	2023年7月期予想
年間配当金	—	1.0円	1.0円	1.0円
1株当たり純利益（連結）	3.61円	48.89円	5.67円	6.19円
配当性向（連結）	—	2.0%	17.6%	16.1%

サステナビリティ

サステナビリティへの取り組み



当社は、2023年6月にTCFD提言への賛同を表明し、併せてTCFDコンソーシアムへ加入いたしました。

環境・**社会**・**ガバナンス**の観点で持続可能な社会を実現すべく活動を行う一方で、引き続き高品質・革新的なサービスを提供し続けることで、様々な社会課題の解決に貢献してまいります。

環境 – Environment –

近年、異常気象の激甚化など気候変動に起因する影響が深刻さを増しています。その原因の1つに地球温暖化があり、さらにその原因は温室効果ガスの排出にあります。当社は持続可能な社会の実現に貢献し、企業価値を向上させるため、TCFD提言に基づいた情報開示を行うとともに、全社経営方針の策定や実行をまいります。

社会 – Social –

当社においては、様々なITサービスを展開するにあたり、開発・企画を始めとする多様な現場で「人財」が活躍しています。従業員の健康と安全確保は、生産性の向上や従業員の意識向上につながり、企業の持続的成長に不可欠だと認識し、労働安全衛生の維持、促進に向けて取り組んでいます。

ガバナンス – Governance –

変化のスピードが極めて速いモバイルインターネット業界においては、正確な情報と的確な状況分析に基づく迅速な経営判断が不可欠です。同時に、経営の透明性確保の観点から経営チェック機能の充実が重要と認識しております。当社では、コーポレート・ガバナンス強化のため、コンプライアンス委員会を設置し、経営チェック機能の強化に努めておりますが、今後も適切なコーポレート・ガバナンスのあり方を検討してゆく方針です。

本資料には、株式会社メディアシークの将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

お問い合わせ先

株式会社メディアシーク
業務管理部

Email : ir@mediaseek.co.jp

IR情報 : <https://www.mediaseek.co.jp/ir/>